

二〇二四年度 東京藝術大学 大学院音楽研究科 (修士) 入学試験 (問題・解答) 用紙
実施日時: 二〇二三年九月二十三日 (土・祝)

十三時〇〇分〜十四時三〇分 または 十四時四十五分〜十六時十五分 (各一時間三十分)

科 目	受験生記入欄	(ア)	(イ)
国語古文 (音楽文化専攻)	科 声種		
二枚のうち一枚目	専攻 楽器		
	受験番号		

問 次の文章は、宰相中将が中宮のつれづれを慰めるために薫物をお持ちしたところ、中宮や女房たち (文中の宰相の君など) の前で、「御火取 (香を焚く道具)」にちなんだ話をするよう求められ、話し始めたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

第一問 宰相中将の話のうち、傍線部「ある君達に」〜「いと心苦しげに見送りて」までを、動作主体等に気をつけながら、現代語に訳しなさい。

第二問 文中の傍線部 (1) の和歌「こだにかくあくがれ出れば薫物のひとりやいとど思ひこがれむ」について、技巧に留意しながら現代語に訳しなさい。

第三問 文中の波線部「いみじく笑ひまぎらはしてこそやみにしか」は、誰のどのような心情をあらわしているか、説明しなさい。

二〇二四年度 東京藝術大学 大学院音楽研究科 (修士) 入学試験 (開題・解答) 用紙
 実施日時：二〇二三年九月二十三日(土・祝)

十三時〇〇分～十四時三〇分 または 十四時四十五分～十六時十五分 (各一時間三十分)

国語古文(音楽文化学専攻) 二枚のうち二枚目	科 目	受験生記入欄	受験番号	(ア)	(イ)
専攻 楽器	科 声種				

第一問

第二問

第三問